

わたしのまちの健康プロフィール

－ 西部保健所版 －

作成日：令和6年10月（更新）

1 管内の概要

- ◆大分県西部保健所
〒877-0025 日田市田島2-2-5
TEL 0973-23-3133/FAX 0973-23-3136
- ◆大分県西部保健所 地域福祉室
〒879-4413 玖珠郡玖珠町塚脇137-1
TEL 0973-72-9522/FAX 0973-72-1016



2 人口

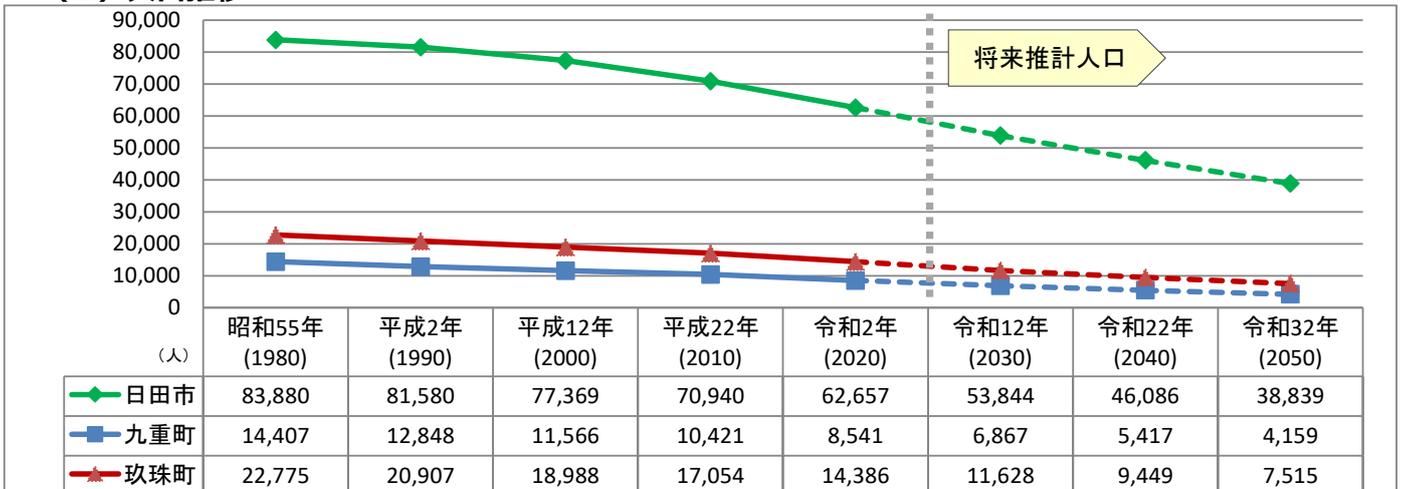
(1) 世帯数・人口・高齢化率

令和5年10月1日

区分	世帯数	総人口			高齢化率	県内順位
		総数	男	女		
大分県	496,367	1,096,235	521,860	574,375	34.2%	
管内	34,358	81,295	38,790	42,505	38.6%	
日田市	25,318	59,862	28,499	31,363	37.2%	13位
九重町	3,318	7,952	3,797	4,155	46.4%	4位
玖珠町	5,722	13,481	6,494	6,987	40.1%	9位

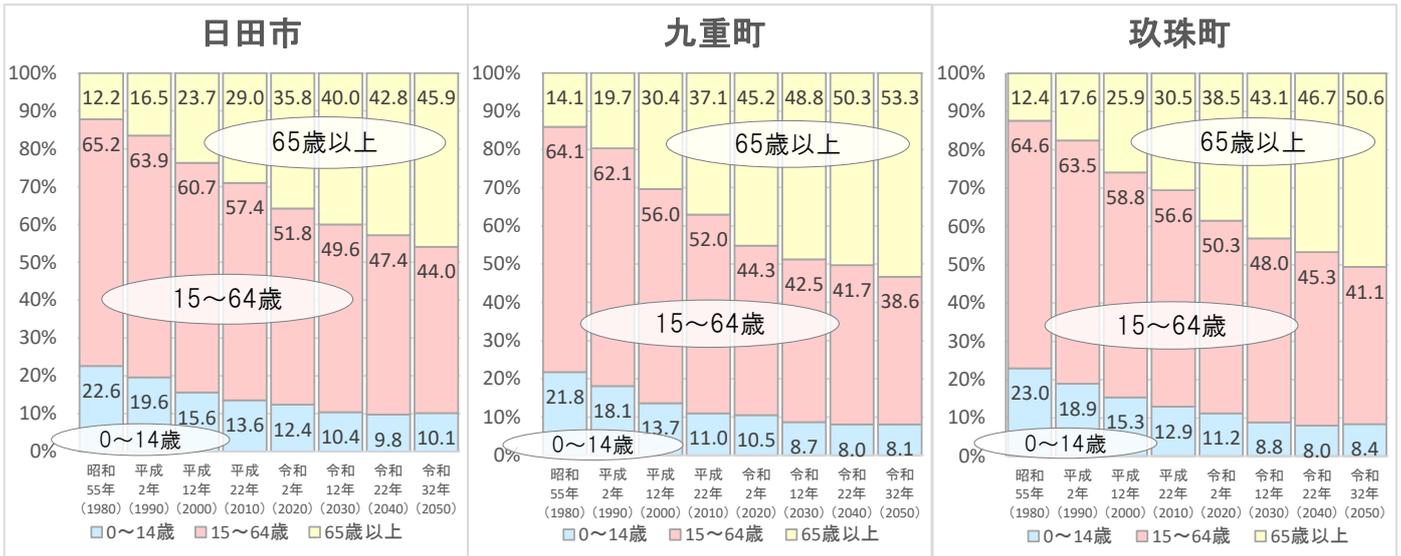
資料：人口・世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」 人口は不詳者含む

(2) 人口推移

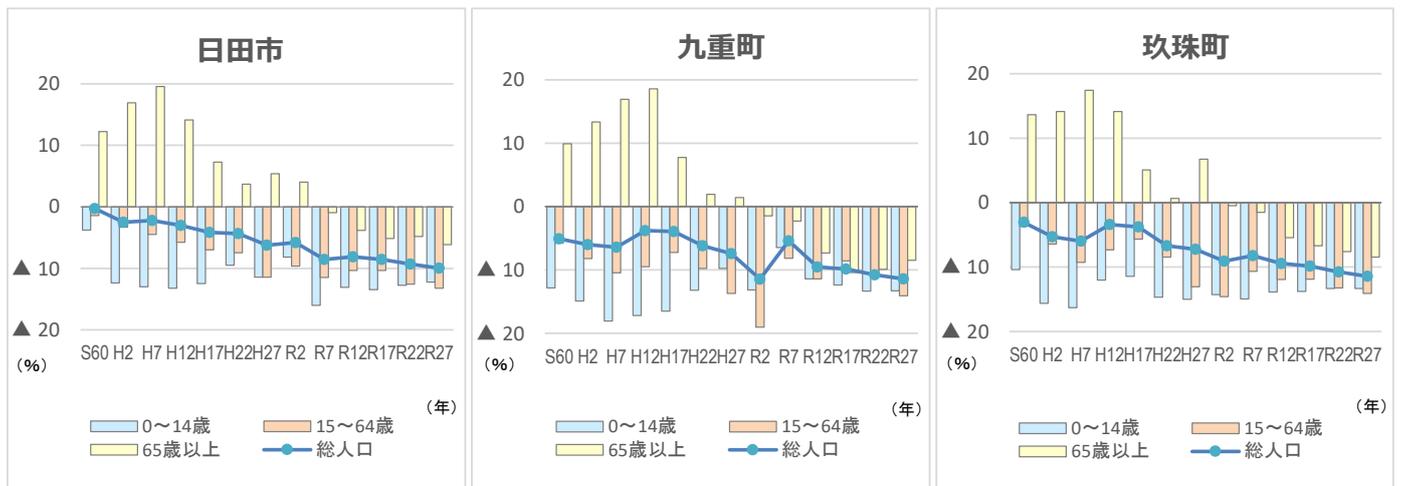


- ・いずれの市町でも人口は減少しており、今後、令和32年までに、日田市では23,818人（約38%）、九重町では4,382人（約51%）、玖珠町では6,871人（約48%）の人口が減少すると予想されています。

(3) 年齢3区分別人口割合の推移



(4) 年齢3区分別人口増減率の推移 (5年ごと)



【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値。

$$\text{人口増減率} = (A - B) \div B$$

A : 表示年を指定するで指定した年の人口 B : Aの5年前の人口

・年齢3区分の人口割合は、いずれの市町でも65歳以上の割合が上昇すると予想されています。
 ・年齢3区分別の人口増減率の推移では、65歳以上人口が九重町、玖珠町では令和2年から減少に転じており、また、日田市でも令和7年から減少に転じることが見込まれ、今後すべての年齢区分で人口が減少すると予想されています。

(2)(3)(4)の資料：昭和55年～令和2年は総務省統計局 国勢調査（人口総数）
 令和12年～令和22年は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）
 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

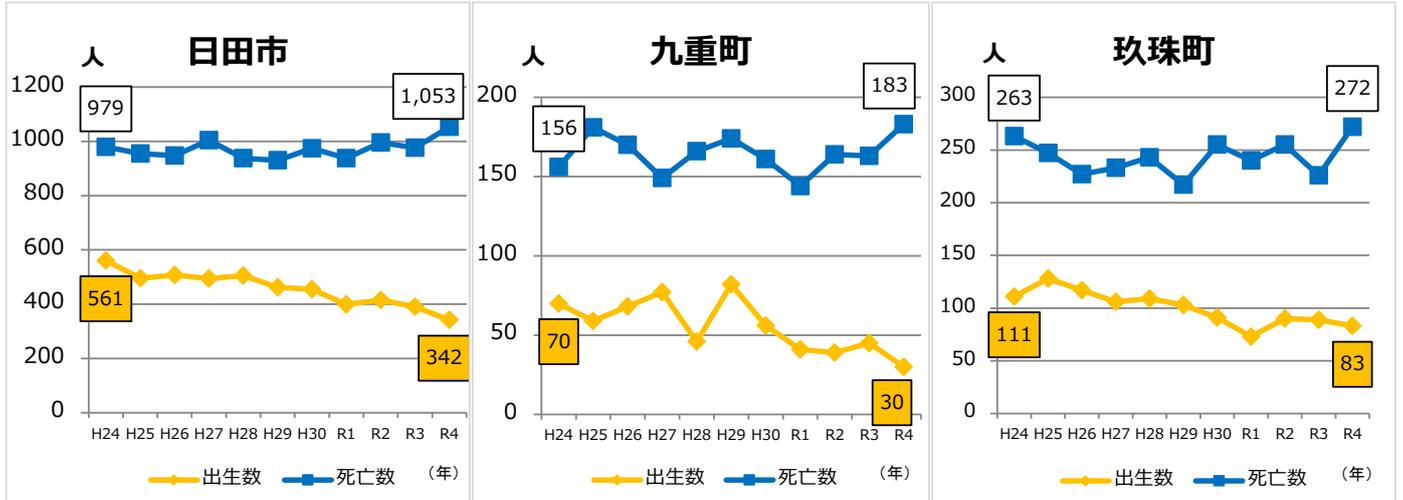
3 人口動態

(1) 出生・死亡

令和4年

	出生			死亡	
	実数	率 [人口千対]	2,500g 未満の実数 [再掲]	実数	率 [人口千対]
大分県	6,798	6.2	594	16,266	14.9
日田市	342	5.7	44	1,053	17.5
九重町	30	3.7	-	183	22.7
玖珠町	83	6.1	8	272	19.9

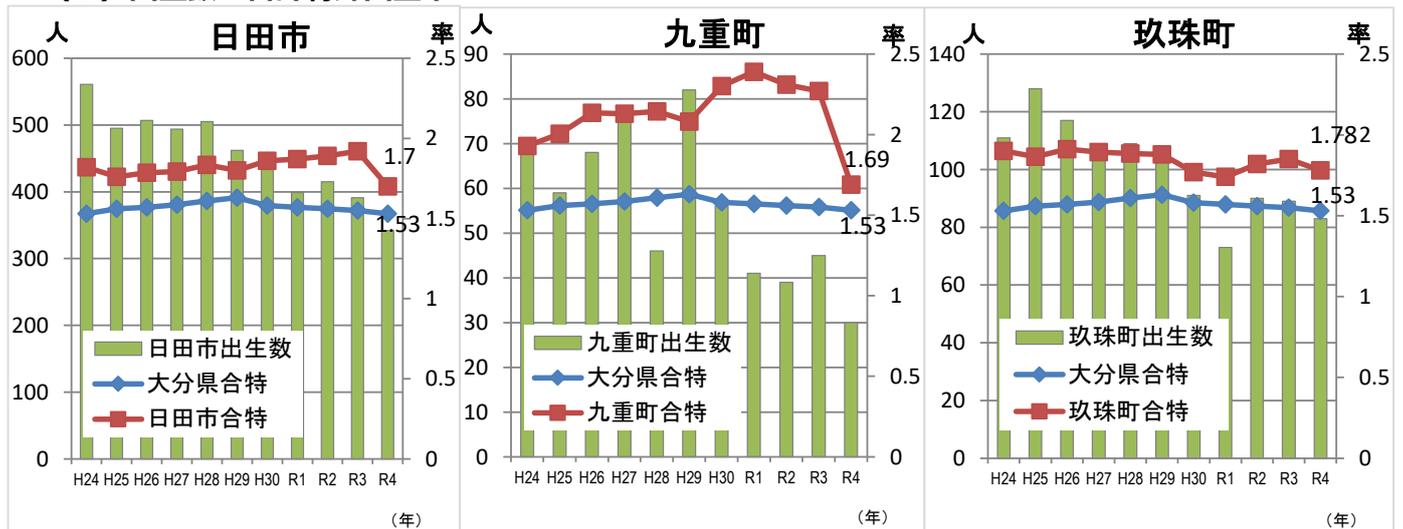
資料：厚生労働省「人口動態統計」



資料：厚生労働省「人口動態統計」

・いずれの市町も、死亡数が出生数を大きく上回っており、県と比べて人口千人あたりの死亡率が高くなっています。
 ・今後も自然減が続いていくものと考えられます。

(2) 出生数・合計特殊出生率



資料：厚生労働省「人口動態統計」

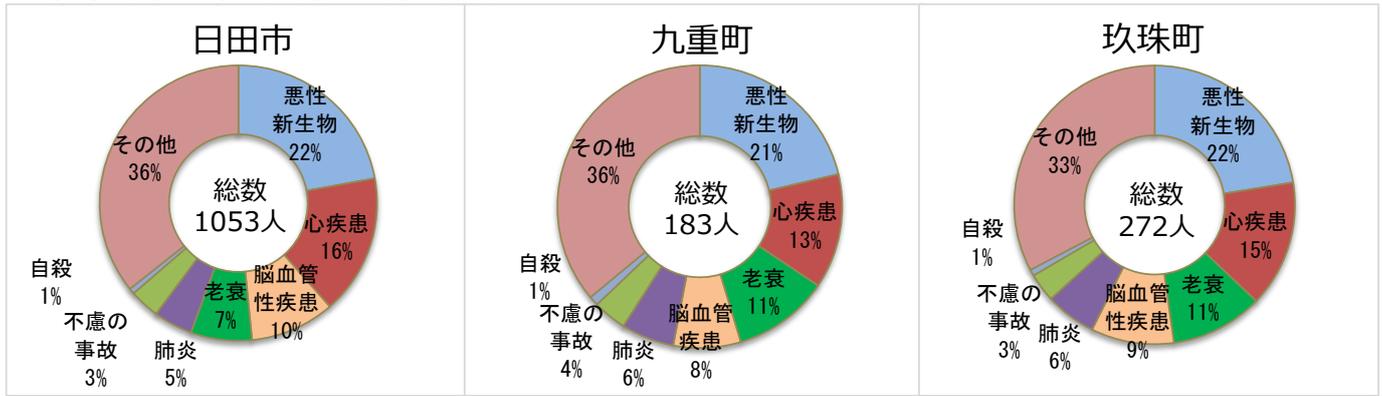
市町の合計特殊出生率：県福祉保健企画課調べ（その年次を含む前5年間の平均値）

・合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む子ども数に相当します。
 ・人口水準を維持するためには、合計特殊出生率2.07以上が必要とされています。
 ・管内の合計特殊出生率は、県全体よりも高い数値で推移しており、県内順位は日田市4位(1.70)、九重町5位(1.69)、玖珠町2位(1.78)と上位に位置していますが、いずれの市町も人口水準を維持するための値を下回っています。
 ・令和4年の九重町と日田市では前年の値に比べて大きく低下しています。

(グラフを見るとききの留意点)

市町村の合計特殊出生率は、出生数の少なさに起因する偶然性の影響のため、数値が不安定となる問題があるため、5年間(H30～R4)平均として算出することにより、地域間の比較が可能な指標としています。ただし、出生数が年間100人を下回るような市町村においてはなお、偶発的要因により、極端な数値が現れることがあります。

(3) 令和4年主要死因別死亡割合



(4) 令和4年主要死因別死亡率 (人口10万対)

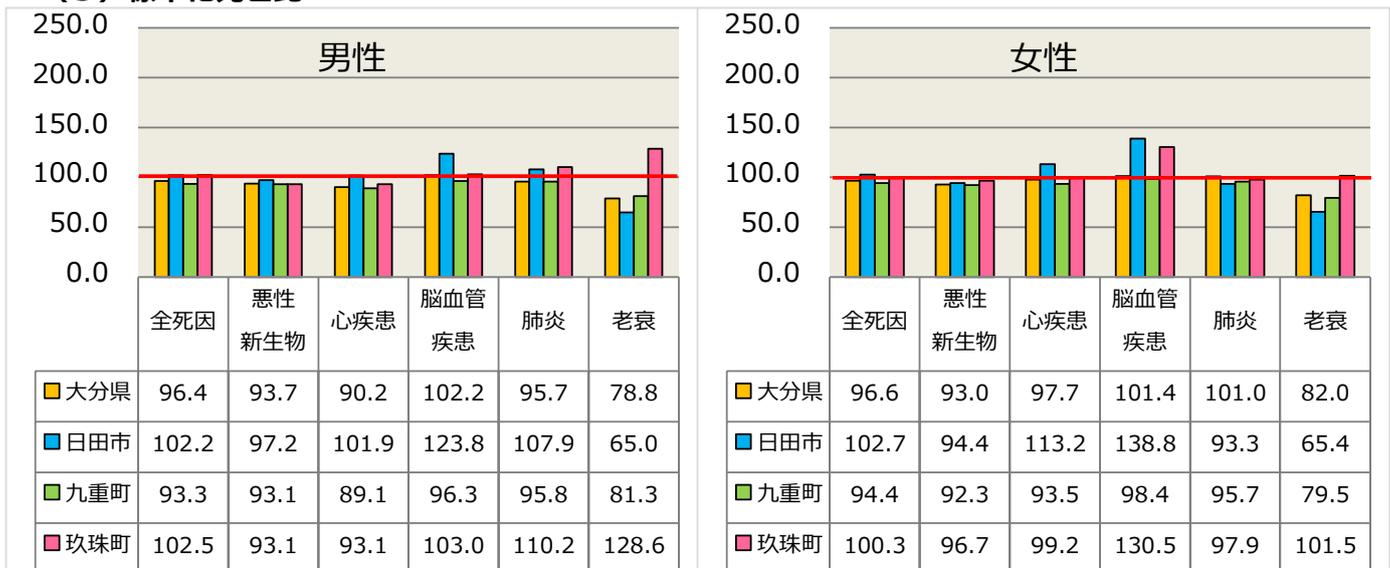
令和4年

	大分県	管内	日田市		九重町		玖珠町	
	死亡率	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率
総数	1489.6	1855.0	1,053	1749.3	183	2267.4	272	1987.0
悪性新生物	337.1	409.6	233	387.1	39	483.2	61	445.6
心疾患	214.4	291.5	173	287.4	24	297.4	40	292.2
脳血管性疾患	107.9	177.1	104	172.8	14	173.5	26	189.9
肺炎	76.0	92.6	48	79.7	11	136.3	16	116.9
腎不全	35.5	28.3	15	24.9	4	49.6	4	29.2
老衰	150.3	152.5	75	124.6	20	247.8	29	211.8
不慮の事故	48.7	65.2	37	61.5	7	86.7	9	65.7
自殺	15.5	13.5	7	11.6	2	24.8	2	14.6

(3)(4)の資料：人口動態調査都道府県標準結果（県福祉保健企画課） 注：率は人口10万対

- ・西部管内の主要死因別死亡割合は、1位「悪性新生物」、2位「心疾患」、3位「脳血管疾患」となっています。
- ・市町別に見ると、日田市は西部管内と同じ順位ですが、九重町、玖珠町では「老衰」が「脳血管疾患」を抜いて3位となっています。

(5) 標準化死亡比



資料：人口動態統計特殊報告 / 平成30年～令和4年 人口動態保健所・市区町村別統計

- ・死亡の状況は年齢構成に影響されるため、年齢構成を調節した指標「標準化死亡比」を用いて比較し、標準化死亡比の値が100よりも大きければ、全国よりも死亡率が高い自治体であると考えられます。
- ・日田市では、特に脳血管疾患において、男性、女性ともに全国よりも高い死亡比となっています。
- ・九重町では、特に脳血管疾患において、男性、女性ともに高値であるものの、国の平均値よりは低い死亡比となっています。
- ・玖珠町では、男性は特に老衰での死亡比が全国より高く、女性は特に脳血管疾患と老衰の死亡比が全国より高くなっています。

4 平均寿命とお達者年齢（市町村別）

【平均寿命とは】

- ・「平均寿命」は、0歳の子どもの何年生きられるかを示すもので、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。
- ・市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出（※1）し、毎年公表（※2）しています。

【お達者年齢とは】

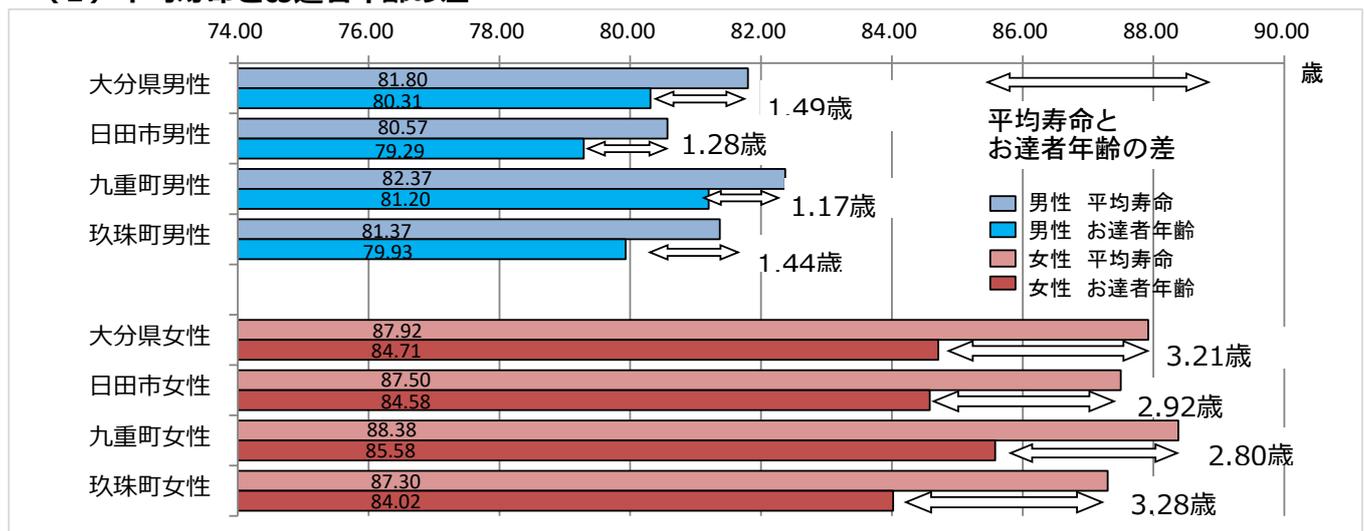
- ・「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。
- ・平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味しており、この期間をなるべく短くすることが必要です。
- ・市町村は人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、これに類する県独自の指標として「お達者年齢」（※3）を大分県が毎年公表（※2）しています。
- ・管内では男性よりも女性の方が「平均寿命」及び「お達者年齢」とも長く、また、「平均寿命」と「お達者年齢」の差は、男性で約1.5年、女性で約3年となっており、玖珠町女性を除き県全体より差が短くなっています。

※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出

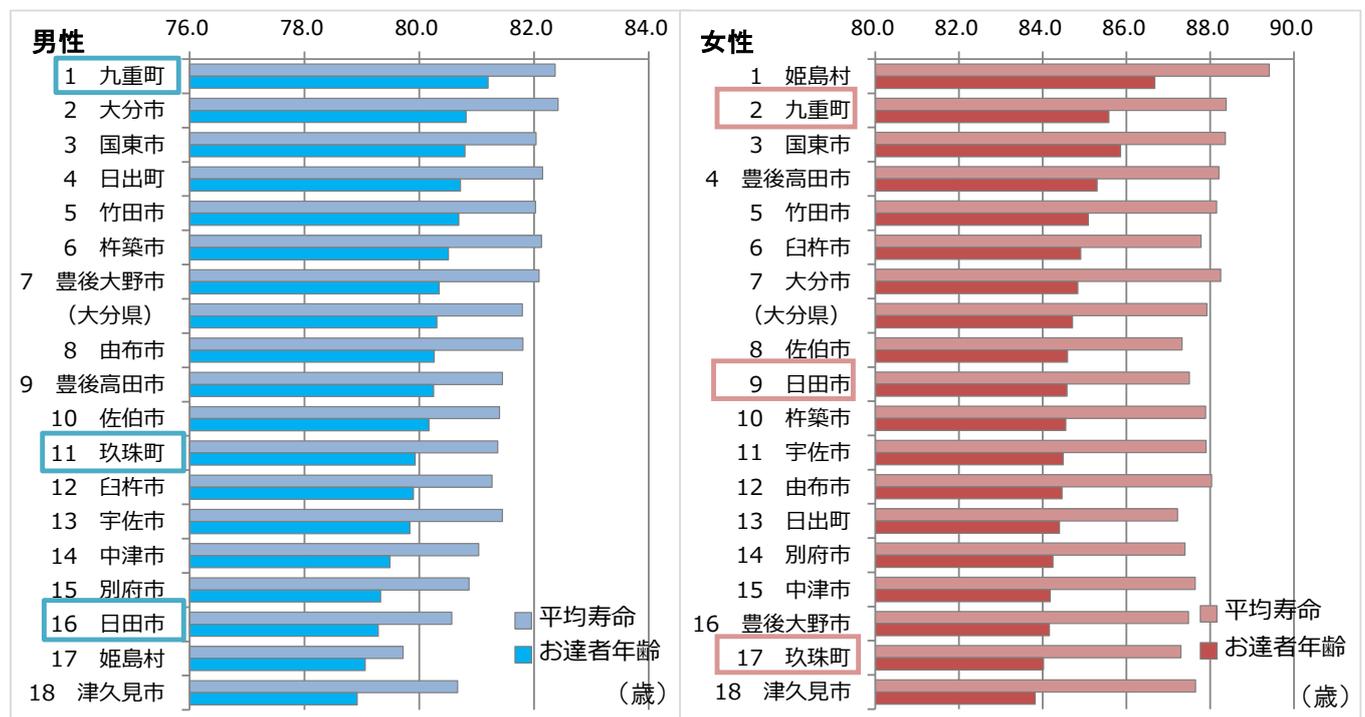
※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用

※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義

（1）平均寿命とお達者年齢の差



（2）市町村別お達者年齢ランキング



(1)(2)の資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計（H30～R4平均）